

アンケート調査実施方法

第8期計画

1. ニーズ調査対象（数）

非該当	2,000	（回答率 73.45%）
要支援	1,000	（回答率 72.7%）
要介護	1,000	（回答率 61.3%）

2. ニーズ調査項目

- ①ご本人について
- ②あなたの身体状況について
- ③からだを動かすことについて
- ④食べることについて
- ⑤毎日の生活について
- ⑥物忘れについて
- ⑦地域での活動について
- ⑧たすけあいについて
- ⑨健康について
- ⑩災害時や緊急時の対応などについて
- ⑪高齢者に対するサービスについて
- ⑫今後の生活や高齢者施策全般について

3. 在宅介護実態調査対象（数）

要支援・要介護認定の更新申請・区分変更申請者 600人
（回答率 100%）

4. 実態調査項目

第8期介護保険事業計画の策定にあたり、「要介護高齢者等の適切な在宅生活の継続」と「家族等介護者の就労継続」の実現に向けた介護サービスの実態把握を行うため、介護者の現状把握のための項目を設定。

アンケート調査について

Point!!

8期・9期と計画を大きく変更しないという方向性のもと、事業の進捗を経年で評価することを目的に、アンケート調査項目も大きく変更を行わない。

第8期計画の
アンケート調査項目

国指定調査項目

変更
なし

第9期計画の
アンケート調査項目

国指定調査項目

第8期計画の
アンケート調査項目

市独自項目

ほとんど
変更なし
（予定）

第9期計画の
アンケート調査項目

市独自項目

8期の流れを汲んだ9期計画に

第9期計画

1. ニーズ調査対象（数）

非該当	2,000	（回答率 75%想定）
要支援	1,000	（回答率 75%想定）
要介護	1,000	（回答率 65%想定）

2. ニーズ調査項目

- ①ご本人について
- ②あなたの身体状況について
- ③からだを動かすことについて
- ④食べることについて
- ⑤毎日の生活について
- ⑥物忘れについて
- ⑦地域での活動について
- ⑧たすけあいについて
- ⑨健康について
- ⑩災害時や緊急時の対応などについて
- ⑪高齢者に対するサービスについて
- ⑫今後の生活や高齢者施策全般について

3. 在宅介護実態調査対象（数）

要支援・要介護認定の更新申請・区分変更申請者 600人
（回答率 100%）

4. 実態調査項目

第9期介護保険事業計画の策定にあたり、「要介護高齢者等の適切な在宅生活の継続」と「家族等介護者の就労継続」の実現に向けた介護サービスの実態把握を行うため、介護者の現状把握のための項目を設定。

第9期計画策定の方向性（案）

第8期計画の基本指針（厚生労働省より）

第8期生き生き!!あま咲きプランとの関係

介護予防・フレイル対策の推進

「共生・予防」を両輪とする認知症施策の推進

● 介護予防・健康づくり施策の充実・推進
（地域支援事業等の効果的な実施）

● 認知症施策推進大綱等を踏まえた認知症施策の推進

人と人とのつながりや
支え合い、高齢者の社会参加の促進

介護が必要になっても安全・安心に暮らせる基盤づくり

● 地域共生社会の実現
● 介護予防・健康づくり施策の充実・推進
（地域支援事業等の効果的な実施）

● 2025・2040年を見据えたサービス基盤、人的基盤の整備
● 有料老人ホームとサービス付き高齢者住宅に係る都道府県・市町村間の情報連携の強化
● 地域包括ケアシステムを支える介護人材確保及び業務効率化の取組の強化

第8期から第9期の基本指針を大きく変える予定なし
（令和3年度厚生労働省通知）

第9期計画の基本指針（大きな変更なしと想定）

第9期生き生き!!あま咲きプランとの関係

介護予防・フレイル対策の推進

「共生・予防」を両輪とする認知症施策の推進

● 介護予防・健康づくり施策の充実・推進
（地域支援事業等の効果的な実施）

● 認知症施策推進大綱等を踏まえた認知症施策の推進

人と人とのつながりや
支え合い、高齢者の社会参加の促進

介護が必要になっても安全・安心に暮らせる基盤づくり

● 地域共生社会の実現
● 介護予防・健康づくり施策の充実・推進
（地域支援事業等の効果的な実施）

● 2025・2040年を見据えたサービス基盤、人的基盤の整備
● 有料老人ホームとサービス付き高齢者住宅に係る都道府県・市町村間の情報連携の強化
● 地域包括ケアシステムを支える介護人材確保及び業務効率化の取組の強化

変更なし

第9期計画策定のポイント

第9期計画策定のスケジュール



第9期計画の素案作成までにPDCAを計1回しか実施できない

Point!!

第9期計画を大きな変更をせずにPDCAを継続すると、第10期計画の素案作成までにPDCAを計4回実施できる

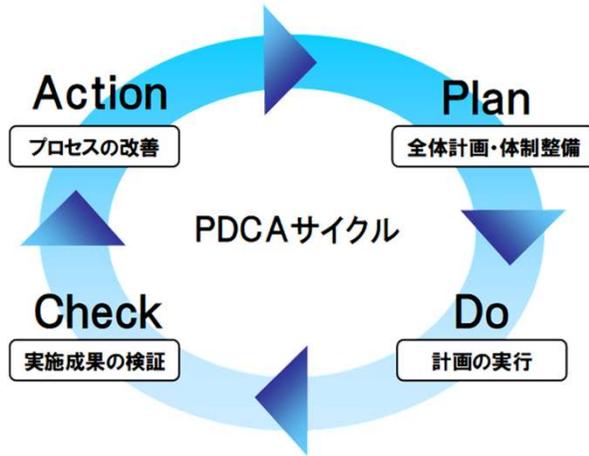
第10期計画策定のスケジュール (案)



第8期・9期計画のPDCA等を踏まえ、第10期計画を策定する

第10期計画策定の方向性

第8期・第9期の振り返り (PDCA)



第10期計画に向けた課題

- 団塊の世代が全員75歳以上となる2025年、更にはその先の2040年にかけて、85歳以上の人口が急増するとともに、高齢者単独世帯や夫婦のみの世帯が増加することが見込まれる。85歳以上の年代では、要介護度が中重度の高齢者や、医療・介護双方のニーズを有する高齢者が大幅に増加し、また、高齢者世帯の増加により、生活支援や住まいの支援を要する世帯も増加することが見込まれる。
- 生活支援を要する世帯の増加に伴い、介護人材を確保する必要がある。

生き生き!!あま咲きプラン (第10期) 策定

第8期・第9期の振り返り (PDCA) を基にした、基本目標と4つのテーマの再検討

基本目標 (2025年に向けた目標)

- 1 高齢者の尊厳の確保と権利擁護
- 2 健康づくりと介護予防の推進
- 3 高齢者の状態やニーズに応じた生活支援サービスの充実
- 4 多様な専門機関や団体などによる支援体制の構築
- 5 助け合い、支え合いの推進
- 6 生きがいつくり、社会参加の促進
- 7 高齢者・介護者を支える介護保険サービスの充実と適切な運営

4つのテーマ

介護予防・フレイル対策の推進

「共生・予防」を両輪とする認知症施策の推進

人と人とのつながりや支え合い、高齢者の社会参加の促進

介護が必要になっても安全・安心に暮らせる基盤づくり

第9期計画策定のアンケート調査及び分析業務スケジュール 案

